

## 令和 3 年度 (2021 年度) 大分大学グローバル感染症研究センター 共同研究 成果報告書

国立大学法人大分大学グローバル感染症研究センター長 殿

<b>申請者に関する事項</b>	フリガナ		
	氏 名	(和) 森 毅彦	
		(英) Takehiko Mori	
	所属機関名	(和) 東京医科歯科大学	
		(英) Tokyo Medical and Dental University	
	部 局 名	(和)血液内科	
		(英) Department of Hematology	
	職 名	(和) 教授	
(英)Professor			
所属機関住所	〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45		
申請者連絡先	TEL	E-mail	
	03-5803-5211	mori.hema@tmd.ac.jp	
<b>報告内容の公開制限</b> ※本報告書に記載の内容について特許出願等の理由により公開時期の希望がある場合に記載してください。		<input checked="" type="checkbox"/> 特に希望無し <input type="checkbox"/> _____年___月以降公開可	

<b>1. 研究課題名</b>			
和 名	造血幹細胞移植後のトキソプラズマ症診断における PCR 法の有用性の検討		
英 名	Evaluation of efficacy of PCR in the diagnosis of toxoplasmosis after hematopoietic stem cell transplantation		
<b>2. 研究部門</b>	感染症病態研究部門	<b>3. 大分大学 共同研究教員</b>	緒方正男
<b>4. 研究期間</b>	2021 年度 ~ 2021 年度		
<b>5. 研究分野</b>	番号: 13 分野名: 免疫不全患者におけるトキソプラズマ脳症の診断法の開発研究		



(英文：200～300wordを目安に記入)

The aim of this study is to evaluate the use of PCR in the diagnosis and the early detection of T. gondii reactivation in the toxoplasmosis after hematopoietic stem cell transplantation. The outcomes of this year are as follows:

① Detection of T. gondii by PCR from the clinical samples of definitely diagnosed toxoplasmosis  
This year, there was no candidate for this evaluation.

② Detection of T. gondii by PCR from the clinical samples of possible toxoplasmosis  
Twenty-two patients were enrolled into this evaluation. T. gondii was not detected from any of the samples.

③ Monitoring of T. gondii reactivation by PCR in the T. gondii-seropositive patients  
One patient who underwent hematopoietic stem cell transplantation was enrolled into the evaluation. T. gondii PCR remained negative through the clinical course. The patient developed fever of unknown etiology but toxoplasmosis could be excluded based on the negative results of PCR.

The development of in vitro diagnostics has been ongoing in collaboration with 'Medical & Biological Laboratories'. Sensitivity and specificity of PCR methods have been assessed.

The collaboration with Department of Medical Oncology and Hematology, Faculty of Medicine, Oita University, was planned but could not be performed because of the COVID-19 pandemic.

**8. 本共同研究による研究業績** (本共同研究の成果により、研究代表者もしくは研究分担者、指導大学院生等が令和3年度(2021年度)において発表した論文、学会発表、著書等について、査読付き論文等に限らず幅広く記載してください。ただし、総説は対象に含めませんが、学内の紀要に発表された論文・総説は除きます。) ※国際共著論文とは、国境を越えた組織間の研究者による共著論文を指します。

[謝辞に本共同研究の成果である旨の記載がある論文]

※SCI論文(JCR(Journal Citation Reports)データベースに収録された学術雑誌に掲載された論文)は赤字、国際共著論文は先頭に○を付してください。

該当なし

[上記以外の論文] ※SCI論文は赤字、国際共著論文は先頭に○を付してください。

該当なし

[学会発表]

該当なし

[著書]

該当なし

**9. 本共同研究の波及効果** (本共同研究による令和3年度(2021年度)の波及効果(外部資金の獲得や学会賞受賞、関連コミュニティ、特許出願等)について記載してください。)

[外部資金の獲得：資金制度名、研究課題名、機関(省庁・独法等)、金額、期間、代表・分担の別]

科研費：基盤研究(C)(一般)「造血幹細胞移植後のトキソプラズマ症診断におけるPCR法の有用性の検討と臨床応用」、合計290万円、令和4年～6年、代表

[学会賞等の受賞]

該当なし

[本共同研究が密接に関係する学会・研究会等名称(※複数回答可)]

該当なし

[特許権等の取得：発明の名称、出願番号・特許番号等]

該当なし

**10. 本共同研究が発展したプロジェクト** (本共同研究が発展したプロジェクトについて、そのプロジェクト名、財源、期間、簡単な概要を記載してください。)

[プロジェクト名、財源、期間、簡単な概要]

該当なし

**11. 本共同研究により本センターを利用して学位を取得した大学院生** (本共同研究により本センターの施設・設備、データベース、資料等を利用して令和3年度(2021年度)中に学位を取得した大学院生がいる場合、その氏名等を記載してください。)

[博士号取得者(氏名、大学・研究科名、国籍)]

該当なし

[修士号取得者(氏名、大学・研究科名、国籍)]

該当なし